

東北大学環境報告書 2022 に対する評価

「環境報告書 2022」は、環境にかかわる東北大学の多岐にわたる活動内容について、体系的かつ網羅的にまとめられた報告書である。2022 年版もデータが適切に開示されて評価がなされており、事業所の報告義務を十分に果たしている。同時に、2021 年版に対する本評価委員会の意見内容をすべて反映しており、改善のスキームが機能していることが窺え、年度毎の改善の積み重ねによって報告書の質がさらに向上したというような印象を受けた。特に、写真や図が効果的に配置され、東北大学全体としての数値データだけでなく、多数のトピックスから具体的な取組を紹介することによって、環境活動や研究がどのように行われているのか、分かりやすく示されていると感じた。

最後に、より精緻なデータの入手・評価を行い、本報告書をまとめられた環境報告書作成専門部会（2022 年度）のご努力に深く敬意を表する。今後、本報告書がさらに充実し、東北大学の環境マネジメントにさらに有効に活用されることを期待し、本委員会で出された主な意見を以下に列挙するので、参考にしていただければ幸いである。

- 1) 「プラスチック・スマート」推進宣言のような、独自の環境配慮の取組について紹介があると、より具体性が増すかと思われる。また、プラスチックに対しては、プラスチック資源循環促進法が施行されたため（2022 年 4 月 1 日）、関連する研究等の報告があると読み手側の興味につながるのではないかと考えられる。
- 2) グリーン購入（15 頁）については、調達目標率を 100%と定める 197 項目のうち、購入のなかった項目を除いた 169 項目中 115 項目で目標達成とあり、購入実績をまとめた表も示されていたが、中には購入量の少ないものも掲載されていたため、より購入量の多いものがあればそちらを掲載した方が良いと思われる。
- 3) 新型コロナウイルス感染症への対応（23 頁）について、次回の報告書では今回以上に本学の取組を紹介できると思われ、社会等へ向けたより一層の情報発信が期待される。

東北大学環境報告書評価委員会（2022 年度）

	所 属	職 名	氏 名
委員長	工学研究科	教 授	梅津 光央
委員	環境科学研究科	准教授	大田 昌樹
委員	金属材料研究所	教 授	秋山 英二
委員	病院	教 授	出江 紳一
委員	教育学研究科	准教授	佐藤 克美
委員	薬学研究科	准教授	安立 昌篤
委員	農学研究科	准教授	井元 智子
委員	宮城県環境生活部 環境政策課	課 長	大内 伸
委員	東北電力株式会社 グループ戦略部門 カーボンニュートラル・環境戦略ユニット	マネージャー	秋葉 哲雄